

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会 議事録

文責：石塚委員（障がい者総合サポートセンター一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会（第1回）				
(2) 開催日時	令和元年7月3日（水）10：00 ～12：00				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員（部会長：志村 陽子） <敬称略>				
	一色 隆雄	宇田尻 浩司	遠藤 文夫	宮坂 貴子	石塚 由江
	金丸 正明	栗田 修平	木村 直紀	生駒 友一	佐藤 渉
	前田 斉				
	事務局出席者 要 理恵子・宮崎 理恵・木伏 正有・森崎 恵里・森田 好美				
1 連絡・確認事項					
(1) 会議を進める上での確認事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・本会議は、「ヒアリンググループ」を敷設している会議室を使用。 ・話をする際は、マイクを使用し、名前を述べてから発言する。 ・1時間を目安に休憩時間をとる。 					
(2) 出欠者・配付資料の確認					
(3) 部会長選任の確認					
(4) 自己紹介					
(5) 平成30年度第3回本会～令和元年度全体合同部会の報告					
1) 今年度協議会体制の検討結果報告					
<ul style="list-style-type: none"> ・本会委員の任期を原則2年とする。 ・平成30年度第3回本会で各部会から示された地域課題を整理し、今年度は3つの専門部会体制で検討していく。 					
2) 今年度の協議会への関わり方について					
「大田区自立支援協議会委員」、「専門部会のみ委員」、「意見を聴くことができる人（オブザーバー）」、「ワーキンググループメンバー」					
3) 会長から各専門部会長の指名報告					
2 議題					
(1) 専門部会の進め方・検討課題について					
1) 継続課題の確認					
○ヘルプカードの改善へ					
ヘルプカードの原型は、平成22年度に作成した「大田区たすけてねカード」であり、よりよいものへとさらに検討を重ねる。					
○個別避難計画の立案と個別支援計画の工夫。					
○命を守るため安全なところへ逃げる「避難」と、生活する場を考えた「留まる・暮らす」に分けて考える発災時対策。					
○放課後等デイサービスや移動支援事業所等と既存のネットワークと連携して取り組む災害対策					

○ワーキンググループ(WG)活動

①自助・共助の能力を高めるためのツールの実現（決定済み）

例：「たすけるよカード」「意思表示シール」「防災活動時の目印」等の具体的な検討

②調査・分析＝アンケート調査の分析と項目の検討（未決定）

- ・まず防災部会で実施したアンケート結果の分析に取り組み、次にアンケートを行う際の項目内容を検討していく。
- ・ワーキンググループの設置の可否は、運営会議の議決が必要なため、次回の運営会議で提案する。

2) 防災・権利擁護の視点での専門部会体制

- ・防災に加えて、新たに「地域で安全・安心に暮らす」視点から課題を抽出・検証する。
- ・ワーキンググループと専門部会が連携して取り組む。

⇒継続課題の3つの柱：「アウトリーチ」「調査・研究」「理解・啓発」

(2) 年間スケジュール（日時、開催頻度、検討課題、学習会、ゲストスピーカー）の決定

1) 全8回の専門部会の日程・開催場所を確認

2) 専門部会の検討課題に応じて作業部会を開催するため、次回の専門部会より、開始前の30分間（13：00～13：30）は、当日の進行を確認する情報保障の時間とする。

3) 今年度の検討課題

①防災時における町会と福祉避難所との連携・・・1か所視察

- ・障がい当事者の方の防災訓練への参加（居住地域の方々と親しくなってもらいたい）

<候補>

- ・昨年10月28日に東六郷1丁目町会主催の防災訓練に大田通勤寮の利用者が参加し、居住地域の方々と一緒に蒲田消防署・消防団の指導のもと訓練を実施した。区立南六郷中学校生徒によるボランティア活動、外国人の団体（大田区の英会話同好会 通称EDO会）の参加もあった。今年は、自立支援協議会の見学・参加の候補先と提案する。
- ・区内の福祉避難所の協定を締結している福祉施設。（例：園祭の実行委員会に出席している町会ともう少し連携を深めたい。）
- ・今年度も嶺町特別出張所との連携を図っていきたい。
- ・地域力推進会議でも、地域の取り組みを確認していきたい。

(3) オブザーバー参加の依頼について

- ・次回の専門部会より、昨年度に引き続き警察署、消防署、防災危機管理課等に加えて、要配慮者の視点から福祉管理課等、新たな部局にも参加を依頼していく。

(4) 専門部会名の決定

- ・提案された「防災・権利擁護部会」「あんぜん・あんしん部会」「防災・あんしん部会」の中から「防災・あんしん部会」に賛同が集まり、決定。

(5) 副部会長、編集委員の選出

- ・副部会長：蛭子委員 編集委員：栗田委員

(6) 司会・書記の確認

- ・司会と書記は委員の持ち回りで行う。
- ・2月の記録担当の変更：栗田委員→石塚委員

3 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 連絡先登録のお願い（名簿登録情報シートの提出）⇒事務局へ提出する。

(2) 情報提供

○矢口特別支援学校福祉避難所開設準備訓練の案内

→参加希望者は、7月17日（水）までに事務局へ連絡する。

○防災危機管理課より大田区防災関係スケジュール

→大規模水害に備えて的確に避難行動をとるため事前に計画をしておく「マイ・タイムライン講習会」を特別出張所管内ごとに順次開催（区として推奨している）。9月9日の専門部会は「マイ・タイムライン」の公開学習会を実施予定。

○おおたTSネットより

→おおた社会福祉士会と共催の拡大定例会、おおた社会福祉士会定例会の案内

○その他

- ・ 城南地域上映実行委員会主催 映画「道草」上映会
- ・ 障がい者総合サポートセンター居住支援部門主催 「失語症入門講座」
- ・ 木村委員より情報提供
 - ① 冊子「障がいをもつ方の個別避難支援プランづくりガイド」
 - ② 冊子「自分でつくる安心防災帳」
 - ③ ②を用いた「障がい児(者)の災害の備え ワークショップ」

※次回の日程

日時：8月26日（月）13時30～15時30分（13：00～情報保障）

会場：障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室